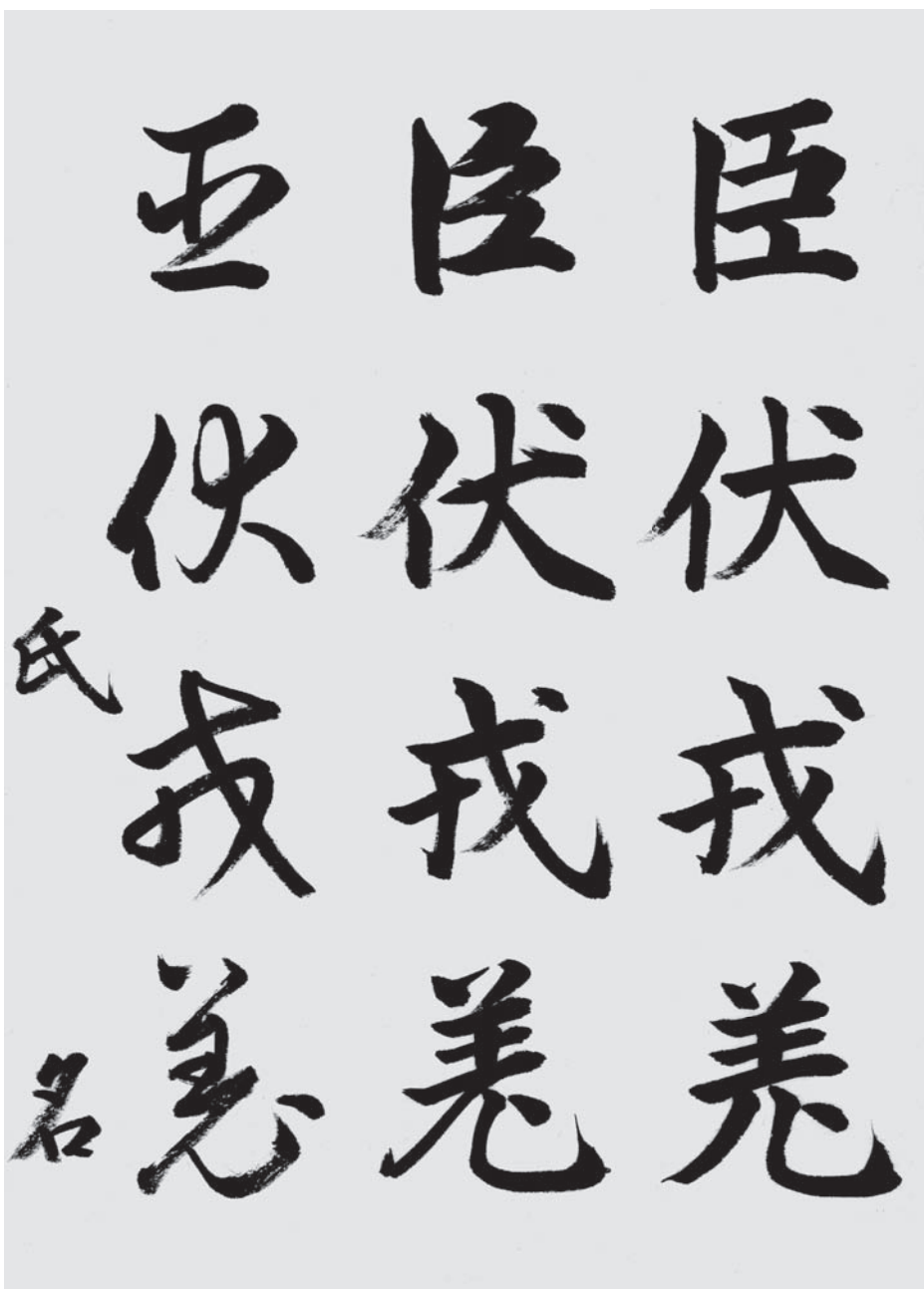


三体千字文を書く(30)

締切り 六月二十四日(必着)



回作品の出し方

▼硬筆部＝B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。(筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

奥村憲照先生書

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二～五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

愛育黎首

臣伏戎羗

民を愛しみ育み、
蛮族を家臣として服従させる。

一般部規定課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

恋愛
以
最
高
芸
術

◎楷書は書法の基本をなすもの。書法とは筆法と結構法とによって構成されている。筆法とは筆使い(ペン使い)のこと、結構とは形のとり方を言います。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

最高
の
芸
術
で
あ
る
恋
愛
は
血
と
肉
と
を
以
て
作
ら
れ
る

おか だ りゅう ほう
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

世
伯
樂
後
千
里
馬

千	し	世
里	か	に
の	る	伯
馬	後	樂
あ	に	あ
り		り
		て

おお たに せい じょう
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会級位用紙

★世に：(書体Ⅱ行書)

韓愈(七六八～八二四)

唐の文学者・詩人「雑説」より
馬を鑑賞する優秀な人物がいて、千里を走る駿馬が見つけれられます。同じく、まず人物の良し悪しを鋭く見抜ける人がいて、初めて優秀な人材を集めることができるでしょう。

白居易の平易な作風に反発し、晦澁・険峻な作を多く残しました。

◆7月課題予告(楷書)

思いやりとは
情熱の休息だ
随想録

★恋愛：(書体Ⅱ楷書)

谷崎潤一郎(一八九〇～一九六五)

小説家・劇作家 文化勲章受賞

愛は、純粹であると思えば、妄念の産物でもあります。人が自分の体を使って、時には喜びの、時には悶え苦しむ形を、或いは悲しみを称える形を、愛は明快に表現しています。

いずれも一瞬の芸術ですが、ほかのものでは得難い美意識があります。

◆7月課題予告(行書)

人間の幸福とは
日々起こる些細な
便宜から生まれる

▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

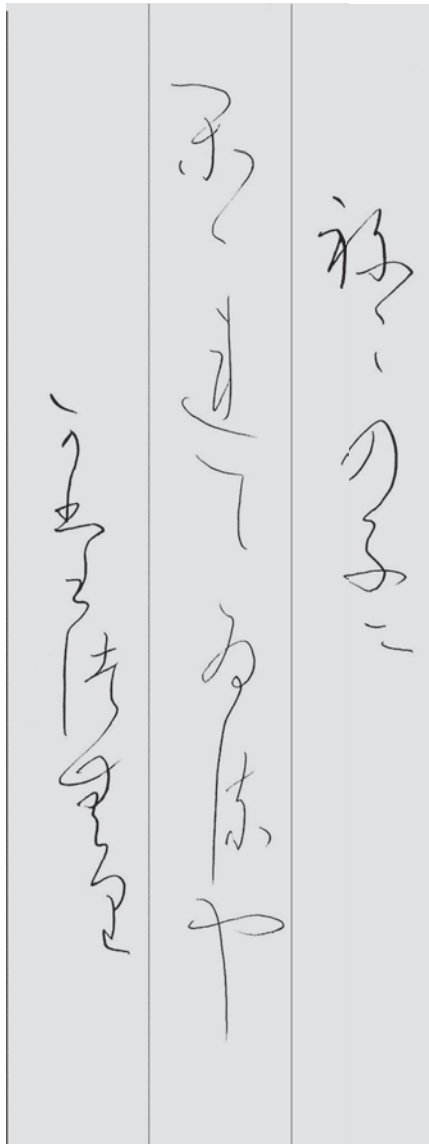
一般部かな課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

猫^ねの子^こに^二嗅^かが^一れて^可る^連や^流蝸^可牛^{堂徒無里}

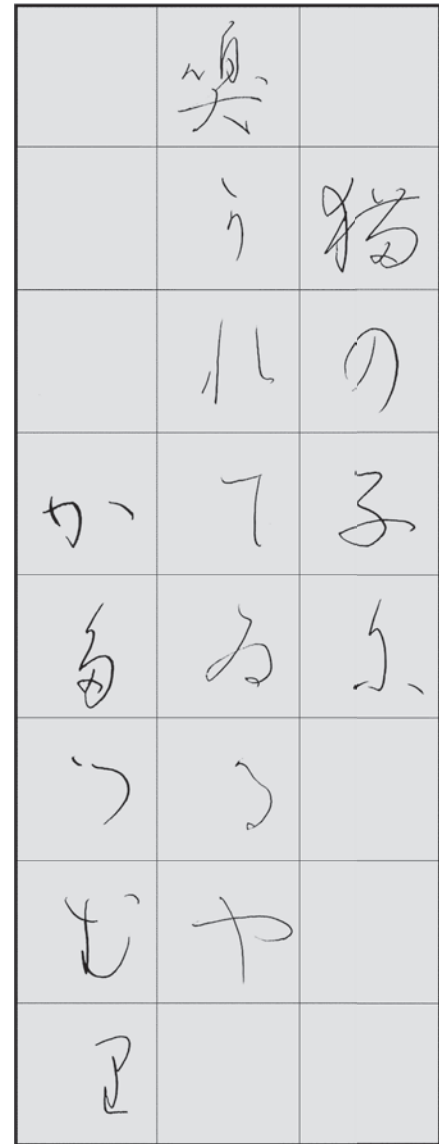


田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

猫^ねの子^こに^二嗅^かが^一れて^可る^連や^流蝸^可牛^{堂徒無里}



田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆7月課題予告

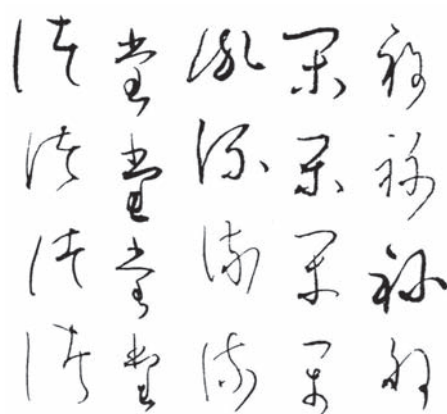
暑^もき^が日^はを^は海^はに^は入^はれ^はた^はり^は最^は上^は川^は

(松尾芭蕉)

度^はを^は速^はめ^はて^は書^はき^はま^はす^は。

〔解説〕字と字の連絡「気脈」に気をつけて書きます。字の最後の払い、丁寧な速度を速めて書きます。

徒^は 堂^は 流^は 閑^は 祢^は



〔古筆参考〕

ることである。

〔鑑賞〕猫の子のけげんな顔つきや逃げ腰までが想像され、ユーモラスな気分をかもし出す。そして、いかにも迷惑そうに殻の中に身をすくめている蝸牛の心がしのばれることである。

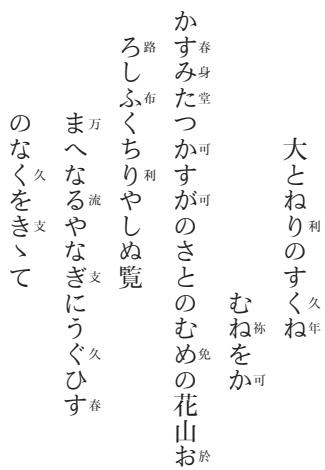
〔句解〕猫の子が、はてなんだらうと、けげんな顔をして、かたつむりのにおいを嗅いでいる。

猫^ねの子^こに^二嗅^かが^一れて^可る^連や^流蝸^可牛^{堂徒無里}

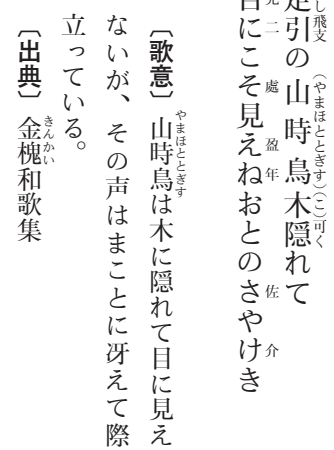
(椎本才麿)

師範・教範・書範

こう し ぎれ
香 紙 切



築瀬舟香書



〔出典〕
金槐きんかい和歌集

- ①と㊦、①と㊧、㉨と㉩、㉪と㉫、
- ①と㉬、①と㉭、それぞれ呼応。
- ●密の動き、○余白（間）の動
きは作品を引き立てる技。
- ➡ の方向は行間をしめる。
- ③も余白をしめる位置を考える。

風を待つ草の葉におく露よりも
あだなるものは朝顔の花

実用文 のページ

はがき課題

おく だ み くも
奥 田 三 雲 書

締切り 6月24日(必着)

散歩の途中、子供たちが田んぼの畦^{あぜ}に座って何かを捕っているのを見かけました。バケツには源五郎数匹。聞くと理科の宿題とのこと。なぜか急に遠い記憶がよみがえりしばしその場に佇んでいました。

散歩の途中、子供たちが田んぼの畦に座って何かを捕っているのを見かけました。バケツには源五郎数匹。聞くと理科の宿題とのこと。なぜか急に遠い記憶がよみがえりしばしその場に佇んでいました。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

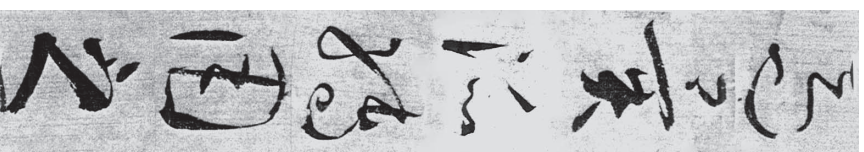
川魚の王「鮎」は、上品な味で一種の香気があるので香魚ともいう。

千葉県柏市 氏 名

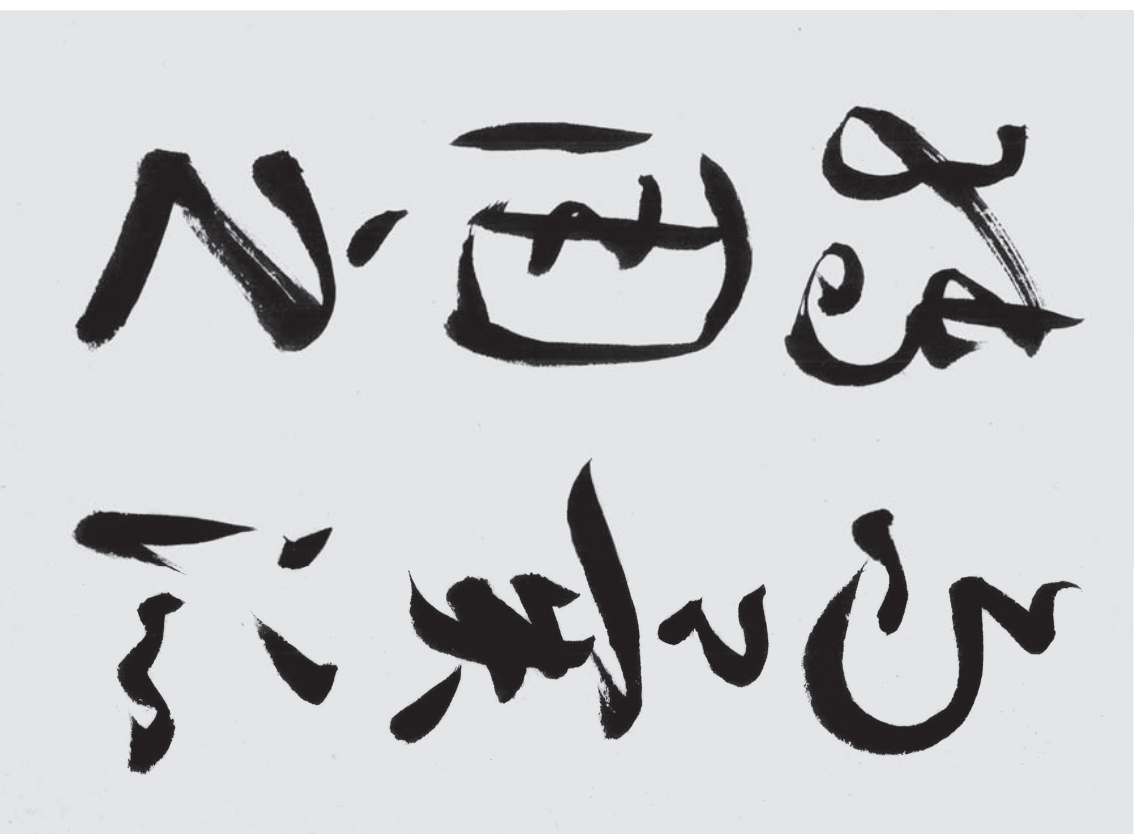
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 6月24日(必着)



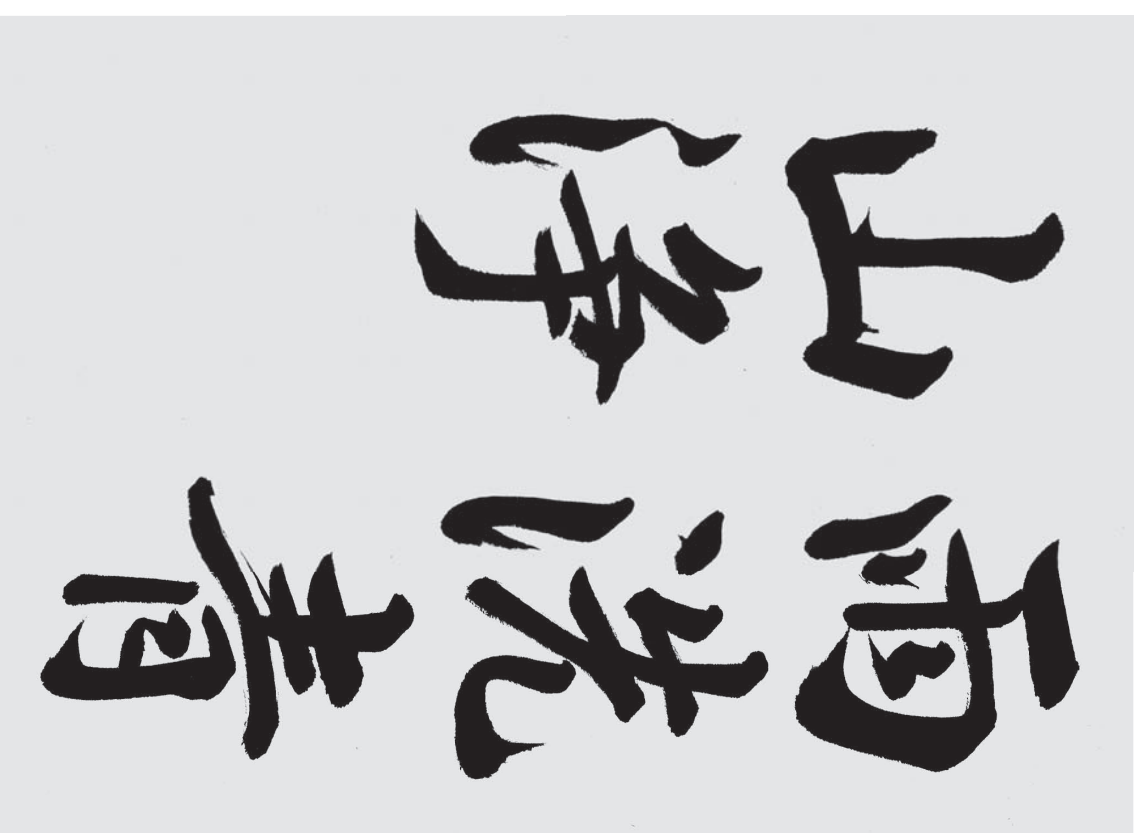
而 異 派 轉 用 之



〔出典〕書譜（687）〔筆者〕孫過庭（648?～703?）
〔読み〕派を異にするが（若く）転用の

準初段から師範まで

奥村暢之 臨



新入から1級まで（行書）

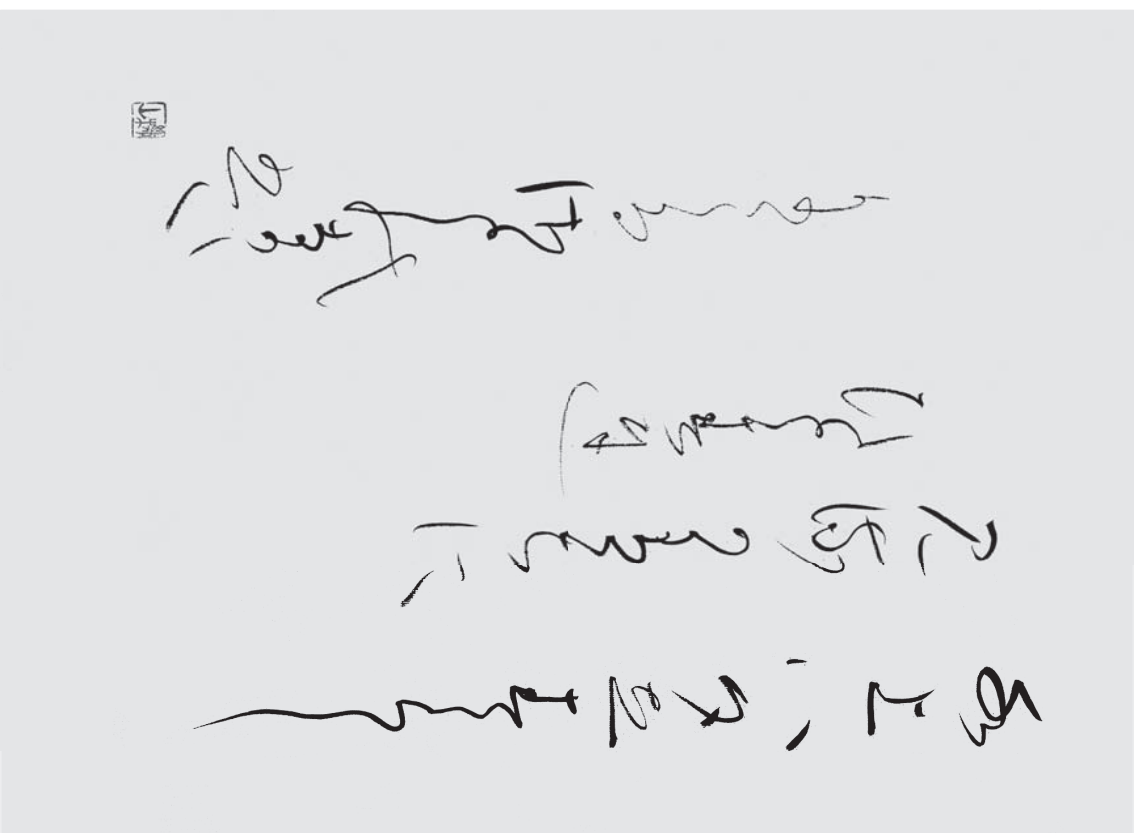
須田一葉 書

〔読み〕雨洗あめあらいて青山せいざん浄きよし
〔大意〕雨により洗われた景色は清らかで美しい。

一般部毛筆かな課題

締切り 6月24日(必着)

※検定試験二段コース以上を兼ねる。



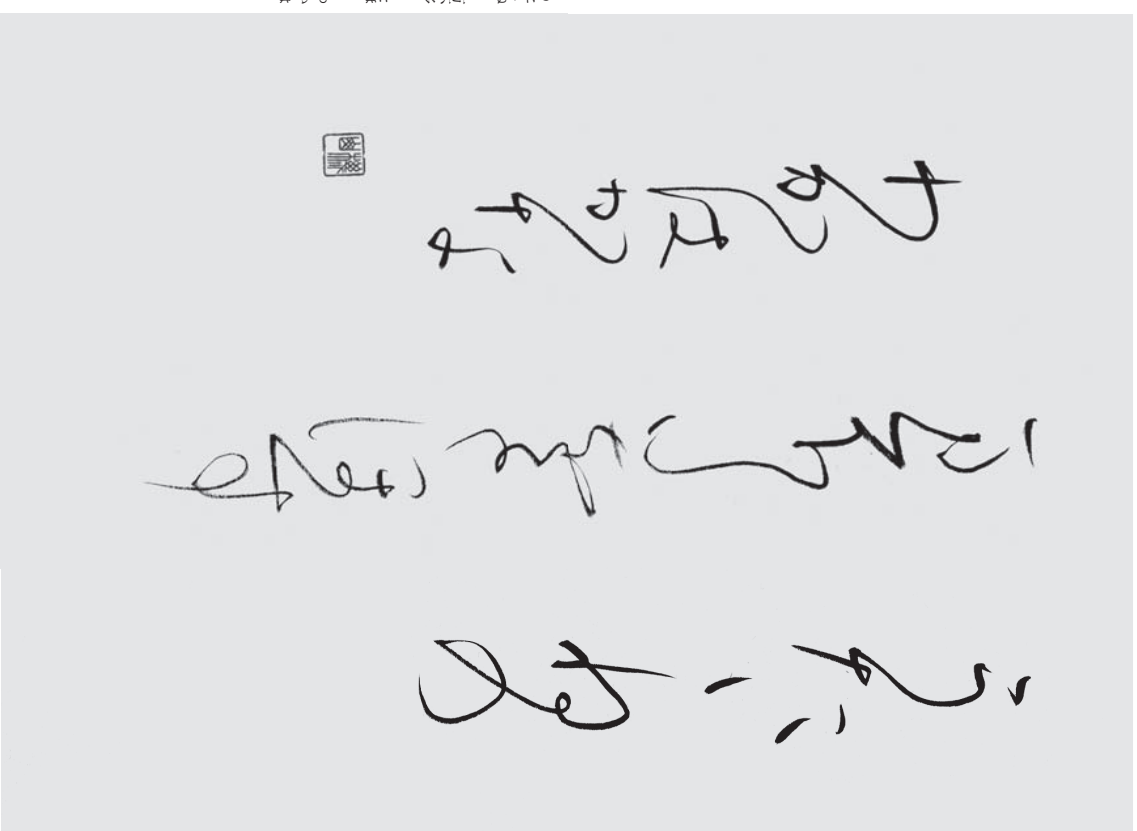
水上は夕立すらし見るうちに
ひと春運る尔る佐能奈可る有る流る可るに
一すぢにるこる里のなか川る盤る

〔出典〕 荷田春満

〔歌意〕 川の上流では、夕立が降っているらしい。見る見るうちに一筋濁りはじめた。この里のなか川であるよ。

準初段から師範まで

※検定試験1級コースを兼ねる。



転寝のうたね 顔を徹すうたね 若葉かなうたね

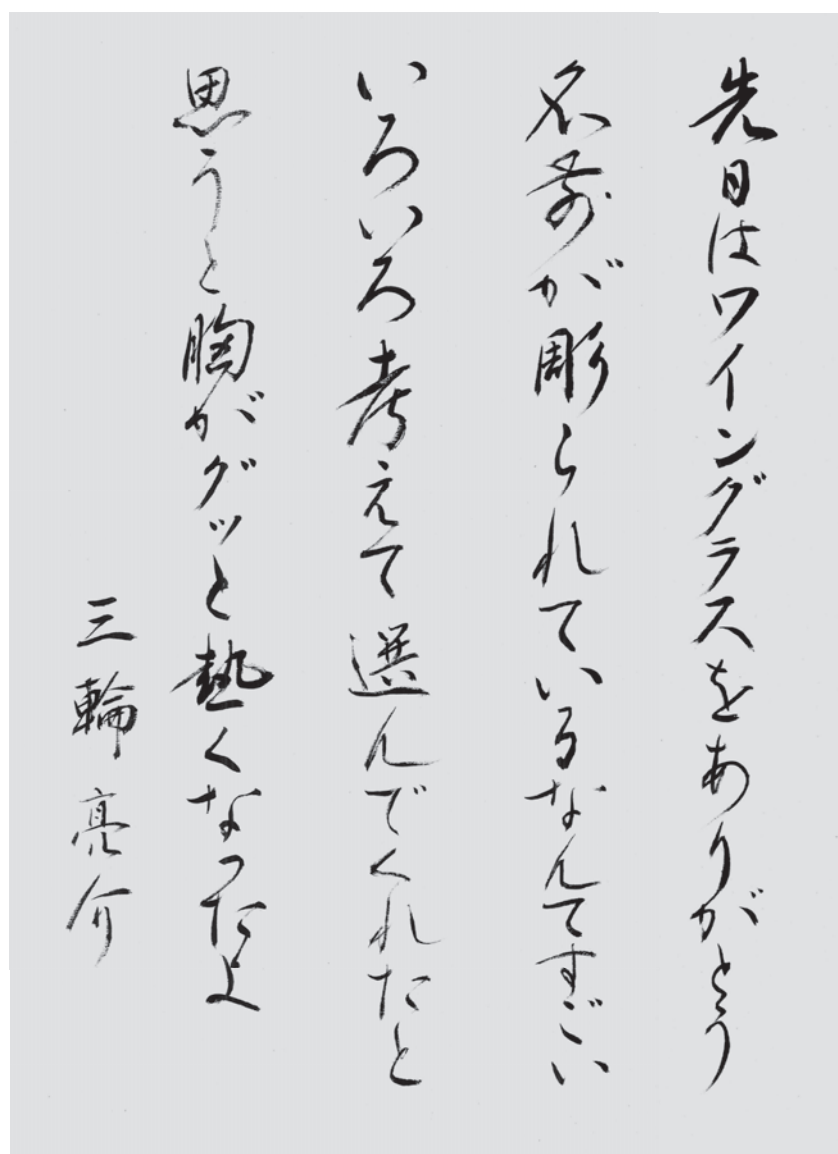
〔出典〕 吉川五明

〔句意〕 障子を開け放ち涼風を入れた座敷でうたたねをしていると、閉じたまぶたを通して、若葉の明るさを感じられる。

新入から1級まで

浅井機山先生書

一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

樋田玲華 書

※検定試験三段コースを兼ねる。

一般部毛筆条幅課題



締切り 六月二十四日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙 書

樹影不随流水去
溪聲常送落花来

〔大意〕新緑が深くなり流れる水面に影もない溪流の音は落花とも思われる。清涼の装い。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕北宋の詩人蘇東坡は書を人間としてみています。神(心)気、骨、肉、血が必要で一本一本の点、画に命をつぎこむ事。表面的に形を追うだけでは本当の書ではない。この重みのある言葉を反芻しましょう。臨書、作品作りに心すべきです。

〔訂正〕先月号の「読み」の中で歐とあるのは鷗の誤りでした。おわびして訂正いたします。

先日はワイングラスをありがとう
名前が彫られているなんてすごい
いろいろ考えて選んでくれたと
思うと胸がグッと熱くなったよ

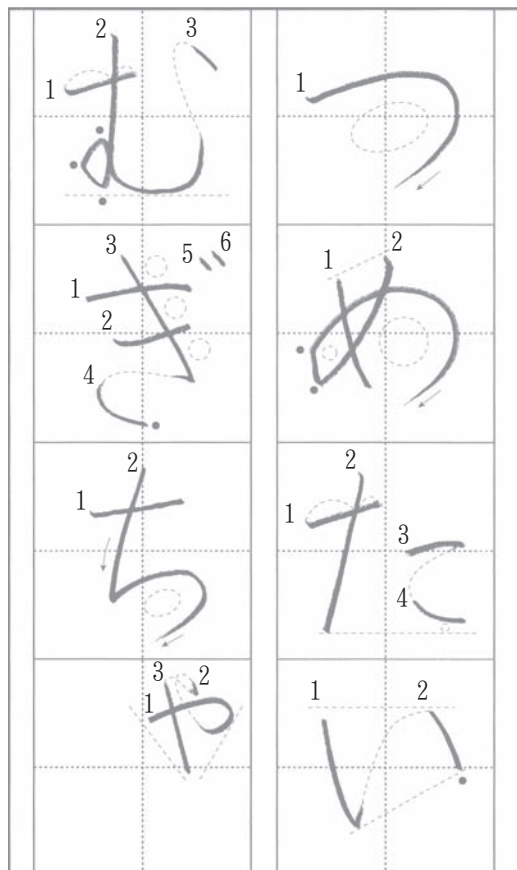
(自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

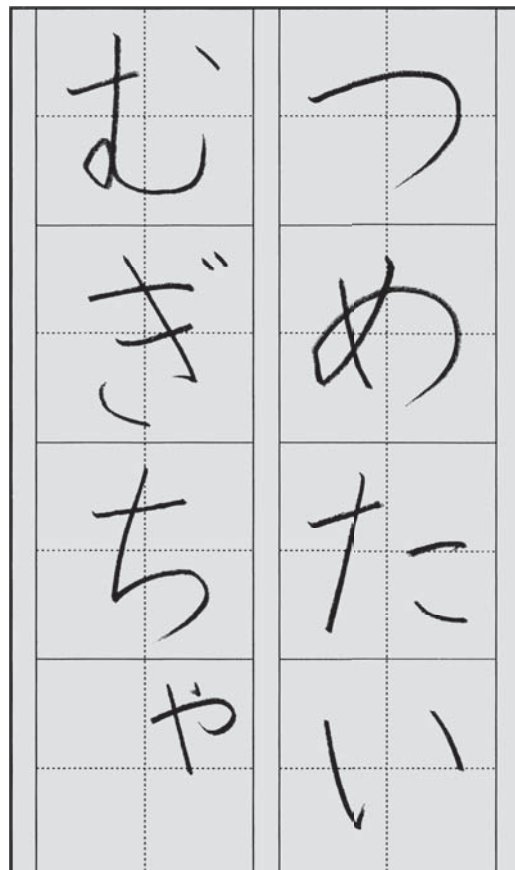
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

へようぐく自由(黒色にかざる)



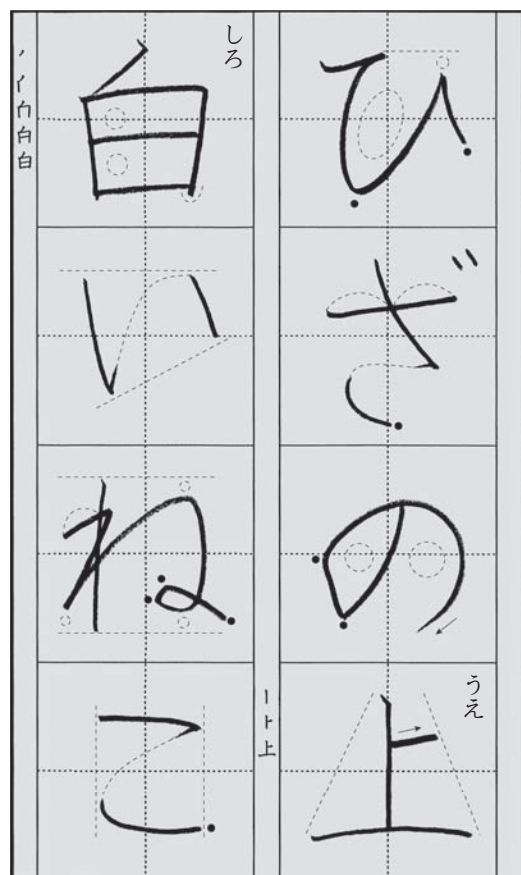
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



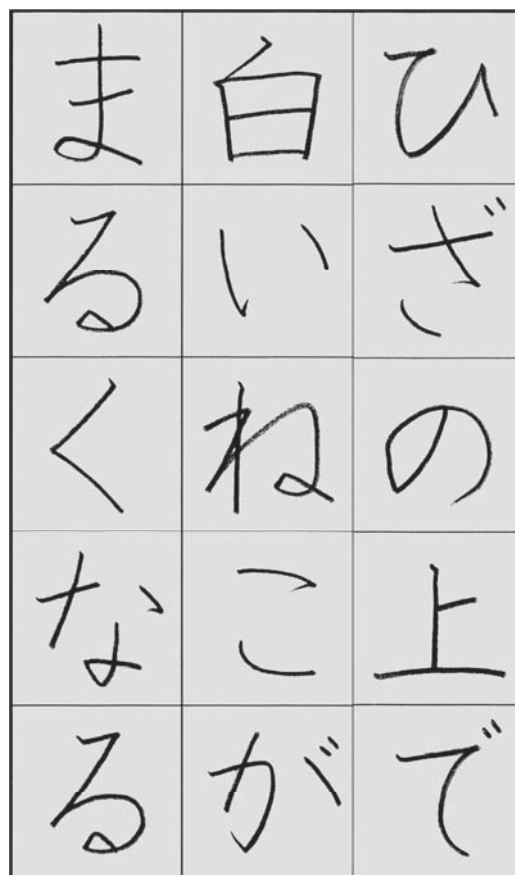
よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

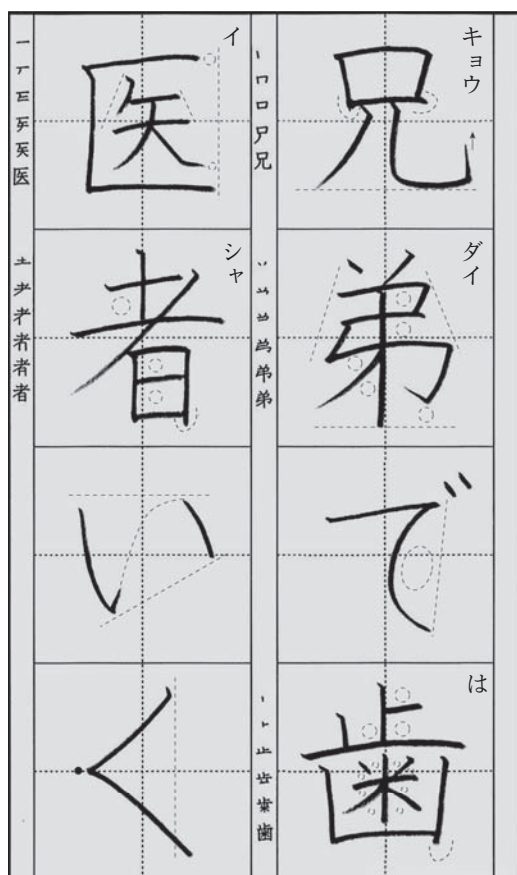


新入1級

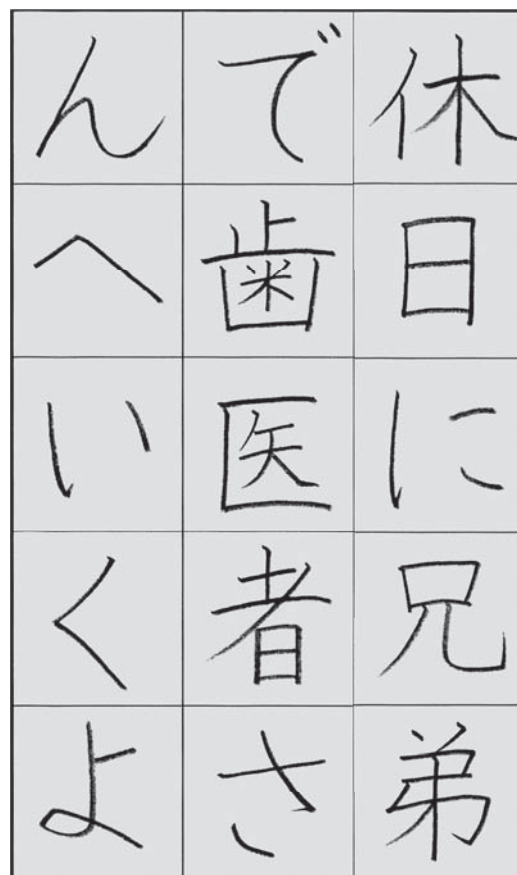


小2年

準初段以上



新入1級



小3年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

教育部硬筆課題

しめきり 6月24日(必着)

小四年



(全員)

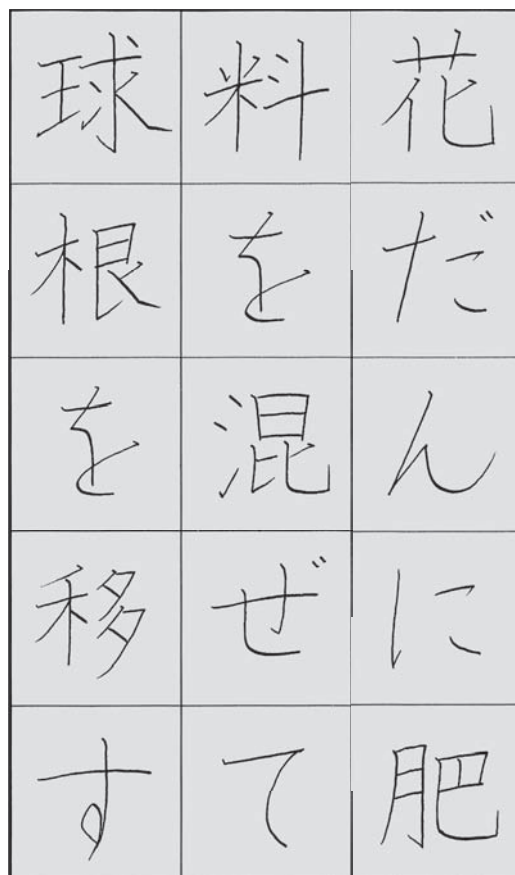
新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬^{かた}くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

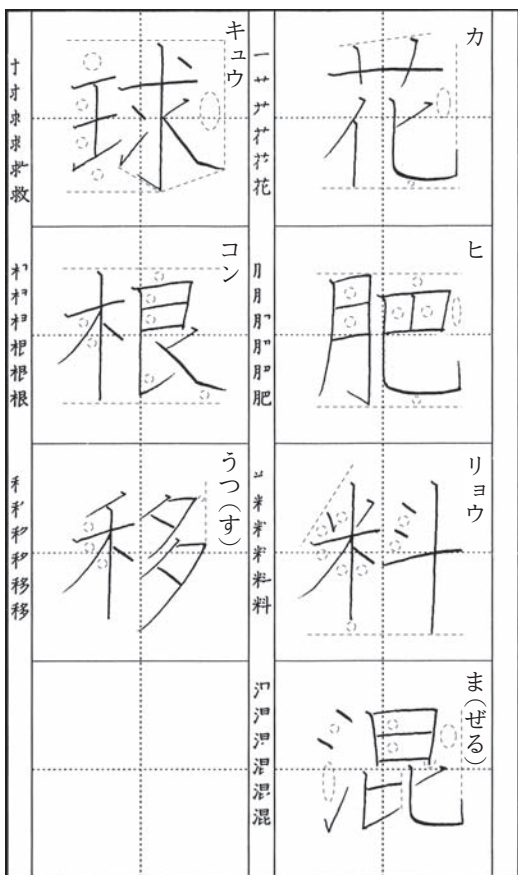
小五年



(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上 岡嶋桂川書

教育部硬筆課題

しめきり 6月24日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

自	潮
転	風
車	海
走	浴

解説(よく見て習いましょう)

車	浴	潮
で	い	風
走	を	ふ
る	自	く
よ	転	海

小六年

(全員)

◎お手本はつけペン使用

紙	一	保
芝	寸	育
居	法	実
読	師	習
む	の	で

中二・三年
(楷書)

大	水	米
川	田	の
の	広	裁
流	が	培
域	る	で

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 あら い りゅう ほう 新 井 龍 峰 書

子 ^こ	う	か	肉 ^{にく}	ピ
ね	ま	わ	球 ^{きゅう}	ン
こ	れ	い	が	ク
	た	い		の
	て			鼻 ^{はな}
	の			と



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 6月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 やま もと せい りゅう 山 本 清 流 書

耐 ^{たい}	連 ^{れん}	長 ^{ちよう}	水 ^{すい}	ト
久 ^{きゅう}	続 ^{ぞく}	距 ^{きよ}	泳 ^{えい}	ラ
競 ^{きよう}	し	離 ^り	、	イ
技 ^ぎ	て	走 ^{そう}	自 ^じ	ア
	行 ^{おこな}	を	転 ^{てん}	ス
	う		車 ^{しゃ}	ロ
			、	ン
				は



◎お手本はつけペン使用

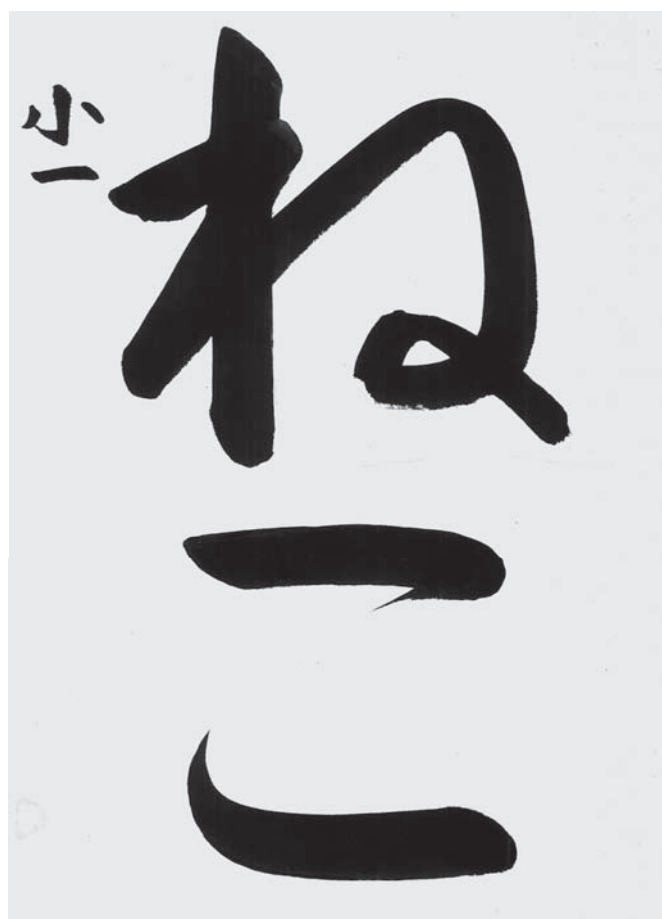
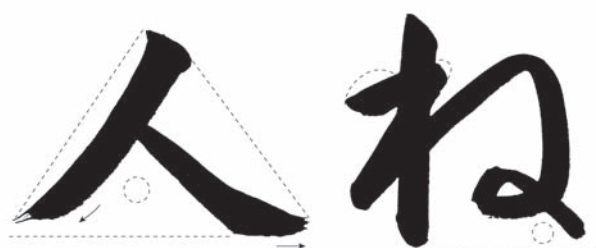
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年〜小二年

玉たま
樹き
小しょう
華か
書



小五 球根

小三 兄弟

帳 球 根
兄 弟 手

小四 手帳

小三、小五年
水野香竹書

中二・三
法一
師寸

小六〜中二・三年
奥村暢之書

車自
小六
転

域自
法転
師流

中
川流
域の